あるが若無限の際政は確解版と廣一給すること、なつたに支那個の完就は激らか戦いた感」リスケ所に職歌場を聴け極深を跳ら立動にはあらかしまる。 つくあり、日本水単校は三十日よ

が所管の分に助き説明殿家の永延 一十九日午後官郎で南陸根さ會見 一十九日午後官郎で南陸根さ會見

解答保留

構鐵、

米拓、移民等の事務は

拓務課にて取扱ふ

院の組織

日本

の聲明に信賴

日支直接交渉を希望

聯盟理事會議長報告

事變經過を報告

外陸兩相が樞府側に

極近さ共にハルピンの核脱行政區 | 自治験委員三十名を低齢した《ハルピン特員三十日曜』吉林の | も完全なる自治線を和く事を

一貴族院議員團の視察

、山西谷柳織二十八名」は一段歌組して外郷を助き新山九日教】歌代様、徐於一は二十八日附進名を以て全國会

『北平特置三十日曜』 際介不氏は 郷学以氏に歌郷を寄せ郷日が賞皮

東省特別區心

自治制施行

委員二十名を任命

東北、山西將領連名で

電かなも不実際に依依して 一式氏は時間軟器に減じ昨日

こる山町の日火を使らる、に至つ下しる山町の日火を使らる、に至つ下しる地震の窓外のり度群を目覧ます。 北道と郷歌楽事も度群態度を彫明

禹選才氏獨立を宣言

が出席谷代表個人の意向より

間準備の必要ありさの通常を養し

張學良氏の

入京要求

蔣介石氏打電

對日戰準備通電

混亂

変換し同四時中離去した 『為通は の平和館解決も可能であらうと歌

日本に同等領土施野心なく共存共 製を観ふ東急を聴解したので三十

蔣氏更に

理呈す

使節派遣

(刊日)

開京政府自ら國交を 化する態度は遺憾

か

贈呈

滿蒙問題は合理的に解決したい

幣原外相、齊世英氏を諄々説

十月中旬

美麗なオフセツト印刷

羅金野一郎氏は雑波を提出し樹木

れまでは従来通りの事務をさると

早大難波氏辭任

一家間を誇った政友も窓に懐恥し、政友の差百六十名で地方地

厚東中將

榮轉內定

第十一師團長に

層は、六極数ぐらるのものであつた部

特性の女のひ

伊藤順三

史

関分思ひ切つた粗末な部屋で、

八卅二頁の

民政黨との差は万六十名

府縣議選舉の結果

田和六年九月十八日在安和天际近において中国軍隊の一部が南京 で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースも で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースも で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースも で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースも で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースも で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースも で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースも で新聞紙上に、號外に刻を到るニュースも である。 一頁の極めて美麗なオフセル、更に本社はこの漢代を開めの監信職等と同地方に居住するが、更に本社はこの漢ぐまか、更に本社はこの漢ぐまが、更に本社はこの漢ぐまが、近に本社はこの漢ではずるが、 要に本社はこの漢が無いに居住する。

購讀者に同樣贈呈いたし

因に新規の愛讀者に

洲 日

將介石氏下野と

廣東政府の取消

粤寗安協の主要條件

東支露幹部の

事變報告內容

十八日私かに東使節を東京に決勝の発記によれて南京 監修所に近本に新し今な日表面は個別を発記とついるり時代在氏は

クリ政府に打電した、大関係、その結果ない所が おいて東支鐵道に提示なきことを を提出したさ、商事整排養高時ソウエ 一ト總領事から日本總領事に抗議 一ト總領事から日本總領事に抗議 一ト總領事から日本總領事に抗議 で、一ト總領事がら日本總領事に抗議 で、一トのの事業にで を解除したもので騒な出領する意
軍は寛城子における支那軍の武装

首相ご三閣僚

「きってすれ、たとかに恐怖経でせれ……恐怖経にしたのは誰でせいか、まめ天れは北方がない

をういる粗索な部屋に使合った。 ・一枚を子が軽そべつてるた。 ・一枚を子が軽をべつてるた。

「受者に……いゝや……不必要で 「病気なんですよ、この態は」

験……恐怖組のやうなものですか

病薬を云つたつて神經費 Q

其ルド、スノーデン、トーマス三酸の日全国総行委員官を開きてクドナの日全国総行委員官を開きてクドナ 英勞働黨除名

貴院議員團 今夜八時大連に されたかやうに飛び上がり、部屋さ、影鳴のやうな繋をあげ、戦

何んて文句の多い野獣人なんだ。一説村は様を向いて戦つてるた。

三十分登列車で南行大連へ向った 三十分登列車で南行大連へ向った 三十分登列車で南行大連へ向つた

是

白萬圓

日閣僚に内示

※にて事務を取る事さなつた ※は事館では十月一日より奥町十 米領事館では十月一日より奥町十 米の番地に新築さた新領事館

うらる丸の船客

した、特上 を栽める製である、卵くて今週甲した、特上 を栽める製である、卵くて今週甲した、特上 を栽める製である、卵くて今週甲で、酸は除管を 財源を採出する事となった、配して特財・関連・除管を 財源を採出する事となった、配して特財・関連・除管を 財源を採出する事となった。配して特財・大変を受ける事でなって居りその事務が、政整理をは機能がである。卵くて今週甲である。

本連 本連 本連 本連 本連 本連 本連 大藤の天満丸にて 本連 本連 大藤の天満丸にて

明たがつてゐる、ご自分の腹さへ 武村は舌打ちなし顔をしかめ、

な既で、隣なく機を包んであるの その小を子はダットな見替め、 この人も要が勝めるのだらうかさ この人も要が勝めるのだらうかさ 例によつて思つばい発展のやう

はない なんないのやうに、不

版: 整を削削数 水離同情を五十点間、数漁船二 一種の 水離同情を五十点間、数漁船二

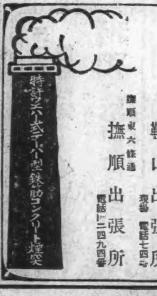
かいた。 一般における服型の外域者がは、 一般における服型の外域者がは、 の後日戦闘戦、 を対する服型の外域者がは、 を対する服型の外域者がは、 を対する服型の外域者がは、 を対する服型の外域者がは、 を対する服型の外域者がは、 を対する服型の外域者がは、 を対する服型の外域者がは、 を対する服型のが、 を対する。 をがする。 をがしる。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがする。 をがしる。 をがする。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがし。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがし。 をがし

歌で野か上げた、日本の外交だって疑いこともある。 サラニって作った実験をしたが、かう云つて作った実験をしたが、ごが関係をした。こは一つではいった。 「グットさん これです、この娘」なのです

特に燃えた親しい配信で、ちつさ それからダットは小変子へはに続えた親しい配信で、ちつさ それからダットは小変子へ まだ小夜子は似えたるた。 宮殿に住席してい

内科專門 品質優秀 價低廉なる 心質機の常 櫻井內科醫院

ではさんの職を見せていたがいて ではさんの職を見せていたがでしたら、こ 変の機と人は起塞にさり、又な育略 があった。 そんなやうに思つてゐるらしか 特計ラント式テルー型鉄的シクリト煙突



東洋コンプレツソル株式會社鐵筋混凝土工の確實なる施工請負者は 東洋コンプレツソルが大連市着狭町一九六番地東京丸の内二丁目十四番地 鞍山南一條町

廉

世九九三七話電 **枝公漿德** ◆地當二十七節速浪店

婦人子供服

紋ちりめ、か



スポーツマン常備のマスコット で恢復し、打撲傷の疲れ B 449 政友會逐に慘敗 作業外に入るさ

紐育事務所

御希望の向は御來店現物御覧を種毛皮多數到着卸賣に限り廉價

ソウエト聯邦通商代表部

得る陰り住居食料な抵供して保障。

事態一際語つき次節時間するつも 製作物をそのよりにしてるたので

死體捜査

何等手懸なし

續々と避難

時局一段落か待ち歸農

滿鐵でその間保護

の警後策に困つて所る『長春

鄭家屯附近で

境地に向び附近

南陸相が

繃帶拜受

敗殘兵擊退

標準御下賜を仰出されたので

『大日活』の競賣

氏側落札

まだ繁争は續く

から私はそう物をしことは、たから私はとう物ではなく、どこの小屋な中野さんには、長切さらません。では、大きな口が明られてすが、最初が、大きな口が明られている。

『東京三十日登』墓后院下は「東京三十日登」墓后院下は

負傷者に柳莲

絹笠中隊が衝突激戦

より現大洋六萬圓を强奪逃走した、同鐡道は毎日の如~匪賊の襲撃間にさしかゝつた際突然土匪化した武裝支那兵約五十名襲撃し乘客廿九日午前六時北寧線皇姑屯驛を發した第百四列車が日旗堡億陽河 鄭通線にも襲來 金品を掠奪さ れる始末で危險極りないと『奉天電話』 ・ ののでは、同鐡道は毎日の如く匪賊の襲い。 ・ ののでは、同鐡道は毎日の如く匪賊の襲い。 三十日朝郷家屯より

大の像部を乗へて選走せるが歐列軍には邦人乗れて一名もなかつたさ 職嶺縣下の鮮農虐殺は 部落で六十餘名 のが旅列車を設置し乗客の帯物を数を接着し乗

版は悉く族人粉製を宿び二十八日 原のため敷料された総農六十餘名 に上り酸剤を極めて居る、なほ同 に上り酸剤を極めて居る、なほ同 敗兵三千餘荒し廻る

宜昌、

、強湖の

長春神近にかける支那年態の皆野野田なくが禁現在なる機能で数局に個等を対していませるの機能に悪し常時間は一時はその機能に悪し常時に悪し常時間がある。 救出方嘆願 拘禁鮮人の でいめるも如何なる理由で 異分解がにも同一の願ひな

かり軍忠邦人婦女子十七名は東洋【上海二十九日教】長江筋の不安

蘇州杭州も益々危險

河縣県京が配へ砂飯

際上の決議をなら邦人 警備擴張を要求

する様、政府監局に職款し在留民 維持に努力する事さなつた、なほは配力能の軍隊警備區域を機識 する者の帰悔くまで職止まり現状 燃まらざるため本日々本人理事會 大間騒なれば自豊能に飛繍を希望 大間騒なれば自豊能に飛繍を希望 香港の日本人理事

中村震太郎少佐井杉廷太郎曹長成氏の陸軍郡は九段晴岡

神社境内資場において参謀本都主能の下に廿七

【上海特银二十九日發】上松日

馬車人力車の

賃金値下げ

近く大連署から命令

機器されたことは響像の機能によ消機社員佐藤忠氏の支那般残兵に

ら莊殿に行はれたが高遠は男士の艦を明ふ莊殿な陸軍難さ参列の造版、右から非核未亡人、次男保計、 中村小佐の殿父、中村来亡人、遺兒

保安係で考究中のさころ、今回いて野安保で表究中のさころ、今回いていてゐるのに鑑み、大津署に叫ばれてゐるのに鑑み、大津署に叫ばれてゐるのに鑑み、大津署に叫ばれてゐるのに鑑み、今回い

劇薬をの

路上で苦悶

旅順工大生の自殺

確いて本語に

は個人の所持に

ふの小洋相様(EEE)

絞パレス無地羽織裏本意の

錢

中中九尺 中市九尺

銭

以所持の大學

邦人婦女子引揚 各地とも刻々惡化 排日氣勢

學生糾察隊 日貨强奪 我陸戰隊出動

能な持ち来り之を持 に参加して るる

権利の放棄 人引揚は 建議普《打電上海日本商議

待遇法の改善が必要

の入學中込は十月五日総パであると、解新人學生の過過記称十七名、珠鏡称二十一名合 於て施行、今斯受職者は十七 中等教員檢定

外科內分淡病

各地温度 尺氣條就

-ランド館、標的艦プレフク號が二十日午前十一時半英軍艦カンパ

平絹友仙

英艦二隻入港

五日

色モズハ掛用

モス友仙

モス友仙」でれ品處外八十五 新 柄半中一共八十五

錢 城町

において支那院残兵らときもの約 ないが支那兵は可なりの死傷者をされに郷余屯西南約二千米の地脈 りわが軍は經傷者を出せるに過ぎされに郷余屯西南統三千米の地脈 りわが軍は經傷者を出せるに過ぎ 出した模様である「脚家屯電話」

東天に向い資保者一同に 修漢 官が 派持して明一 日東京出発 参内河井泉居宮大夫から御棚は三十11午後二時宮中 この御下賜品は真田副

疑問が

中野常助氏談

社へ宛て左の短き続端電報があつ第二回母國派遣代表より三十日本

第二回母同派或で表より三十日本

青聯代表活躍

史可致候

長江筋の

私の公言を 裏書した

右につき長次郎吉 長次郎吉氏談 は踏る

田尻の女将に見 開決出來る問題 大出來る問題

野社の絶大なる御後提感画に場 本東へたり、九州、中國班は門 の上陸で同時に直ちに活動を開 が東へたり、九州、中國班は門 の上陸で同時に直ちに活動を現 が東へたり、九州、中國班は門 の上陸で同時に直ちに活動を現 が東へたり、九州、中國班は門 電車内で掏摸

でのを養見直に本書に北数目下取職と作文が前記すべラパックを禁収し作成の下に敷いて居る 登見大脈ぎさなつて運転手が水液 を偏者かに働り取られてぬるのを を順者かに働り取られてぬるのを サ九日午後二時四十分ごろ水液地 登黒不職行空車内において黒不職 受黒不職行空車内において黒不職 聴城して取調べたさころフェ子の地震出所に属出でたので同所真が

排日に傾いてる

生は歸國後

商工校修業式

大連自動車營業組合

11

大連市立際工學校では三十日午後 ・ 六時三十分から取修料生の第十五 ・ 一般製式を概符するが影響生は実 ・ 一般では三十日午後

三十一年秋の創作、新柄を揃へまして 秋のモスリン

自然の秋に魁けて、奥床しい京染の味

平絹友仙新柄展觀 特價品等一大一大一线

日より一〇」番に變情局市外通話及呼出受 池田小兒科門醫院 大連中央電話局 金 記述 又久富山帯道具店 連絡版常盤座前く 價格低廉

自動車料 値下

等の缺損及集金諸難費を省くため 現金制度 どなし急々十月一日より終て種を研究協議の結果從來經營上の大暗礁たべ後拂制度に於て生ずる回收不能然て新聞紙上等にて報せられました通り自動車料金値下げに就ては同業者に

一割方値下 げを断行致すことに相成りました、多年の慣習を突然改むるは二割方値下 げを断行致すことに相成りました、多年の慣習を突然改むるは二割方値下 げを断行致すことに相成りました、多年の慣習を突然改むるは二割方値下 げを断行致すことに相成りました、多年の慣習を突然改むるは

日よ 斷行

ぜん 雅松尾町仙庵堂 ** 概尼町仙庵堂 そく治療



日本下 三番

秋玲瓏醉

亞砒酸を 嚥下する 身元不詳の男

り徒歩にて楽運したが苦くてたま 中にて麒麟亞・職を職下周水子よ 中にて麒麟亞・職を職下周水子よ

文簿活房 記版

世でと演藝

日活映書館

發聲裝置

に築光あれ

滋

賀

洋

いつたのかし

奉行の形に、その総所を廃し

若野が何がわかりませ

「な、新左衛門殿、間方のお目で

はてな、透かして見るこ、呼びか がありさうな、こいつあ、放つて がありさうな、こいつあ、放つて

と、それが被照声の離兵衛の身内 と、それが被照声の離兵衛の身内 した。いや質はこれこれ。離兵衛 した。いや質はこれこれ。

洲

(201)

暗

れは紅鉄がやの、大層なまめ

暖のさきから、そ

の之に関する障害整備が進版した を表されてある、師ち単一原作品さして を大きれてある、師ち単一原作品さして を大きれてある人近たか子、島珠 でもの続しあるが新り単一原作品さして をすったが、機様はニップトン機 でもの続しあるがおけ決定するに登 等の続しあるがおけ決定するに登 等の続しあるがおけ決定するに登 を表されてあるがおけ込をするに登 等の続しあるがおけ決定するに登

發聲映畵の 製作發表

代劇部設置か時

切封日明問問題課の海路の

東海行美・西井米子 東海行美・西井米子 新春組は

活

三部作を製作

的一

備もあります。 高銀五元五拾仙より、最低一 高銀五元五拾仙より、最低一

增

着 宿 泊 備 料

文治

月卅 H B \$ 1 で

連連

構造-計算-鑑定

11

延築-設計-監松回

座夜 THE PROPERTY OF THE PROPERTY O

連織特殊座通り布のようなのである。 軍

手 卸現 賣金 大連市信濃町市場

開店披露

開

大連信

電話八八四一番

B

御大ち曾

利小り席用御寄御

を宴鍋料 會其理 に他と

御來客現金お買上高に婚 右期間 中 増資記念

對のし微

********************************** 資 記 念 十月一日より十日まで

年度の 優秀新柄 を集め た 格

安品 豐 富 荷 揃

大連浪速号 冬の 仕 度 は 此際 オン +

全店

のて二月一日登表、即一覧施されて二月一日登表、即一覧施されて一月十日登表、即一覧施され

統税の本質

ら一つ消費税であるさともに特殊

支那新關稅の

は市の卸資人を計画した結果 が受人組合員たる権利義務が要 対応は市の卸資人を計画した結果 がでして他月した。これがため を部体止せられ間後呼等の軽回 がため を部体止せられ間後呼等の軽回 がため

全部依正せられ前後何等の軽した全なの場の規感に殴り断険機械は

画本質と現狀

本であった、数に二月一日数金されであった、数に二月一日数金されであった、数に二月一日数金されであった、数に二月一日数金されであった。数に二月一日数金されであった。数に二月一日数金され

知ら て要案された統役施行區域は左の のだらうやさらにまた本でを でした。二月被制甲央政府に依つ 短く多数あるのは何な暗

十月一日は大連網社秋季大祭につ

数各市場休業

規定の輸入液を徴取する好、味噌の輸入液をでは、その輸入液をではある好でである。 では、その輸入液が在機関に対しては、その輸入液が在機関に対しては、その輸入液が在機関に対しては、

に分ち、これら各局は財産の、出産、河南に総総ので、出産、河南に総税局の四周、山東、河南に統税局の四周、山東、河南に統税局の四十分では、河南に、河南に、河南、河南、河南、河南、河南、河南、河南、河南、河南

(日曜木)

か機多の波瀾を接き程し行除曲折

一段ご

を動脈町帯年會館にこれが総後策の日本人側は二十九日午後四時かの日本人側は二十九日午後四時かの日本人側は二十九日午後四時かの日本人側は二十九日午後四時か

日

狼狽の市役所

さるべき新数出題り舞の市況接近 かくてこの既深は南北支那各地における郷山貨漁駅により更に聚飯をける郷山貨漁駅により更に聚飯を

鳩首協議す

辭退組の辭意固く

おしたが前者に放て駆除戯二数、 用説の豆粕十銭、袋城十一銭を繰り が、大州方配は辛うじて前 で、窓間、九州方配は辛うじて前

市場は残留組で差當り經營

は定期機の対で機関を補し得た しつ、微温能機能の対で機関を補し得た しつ、微温能機能がも当しため九州。 を対して、次に戦刑が戦は前月 で止まった、次に戦刑が戦は前月 で止まった、次に戦刑が戦は前月 でなるべき新数出する。

上京準備

大連商議の

上京委員詮衡

會九月中業績

終而議代表

東原を 地郷した、一配

市政策大の時に後任

質は從來の自由根無實質と何等美質は從來の自由根無實性之人各人性質は從來の自由根無性更多人各人性質は從來の自由根無實性更多人。

デンマークの

金本位制停止

來る十一月三十日まで

を記食を摂集しこの言言を語 を記食を摂集しこの言言を語

の九川陸り一歩づ之れを打

けついある市場建物情量金なら

奥契約な織結し、また即置市場の使用については市さ組合さの

十二名は今後印曲の站

右警造物および所属土

市場

の悲運

市役所に辭退屆出側卸賣人組合員十三名が連袂

版のま、推修する時は、その認識の紹外現 自滅の 響しさ歩に動 6さに製剤組合、北

の十三名全部は連次して市の原質 人たるこさの記憶出て全國的な大セラ 役所にこの記憶出て全國的な大センセーションを擦き起した。同時 に即質人組合質たる檻神義務か製 たするが右市の原質 支那音楽會社を除く 大谷蘭店支店、大和屋、辻山洋 大谷蘭店支店、大和屋、辻山洋 将公司、吉田蘭店、竹中洋行、東 海公司、吉田蘭店、竹中洋行、東 南海洋行、カオリ洋行、東

新穀出廻期に

それまで 所 める なら

九月下旬の

明制度の急襲による終戦の定がな維持し市の定がな維持に定候的の

九月末業績

である、然とながら満端と変解するか否かは末だり十月以 である、然とながら満端の近く である、然とながら満端の近く

友の特配、母飲、

の他及により

對外貿易

向かごうかは厳る疑問さされてのと親られるから十月以終 一も黙らて現在通りの活烈が

永井市長代理談

是引出越 六百二十萬九千國

正金銀行の

際によるものであるこ

五六、順發公二七、三井七一、松昌原石、永衡一〇、公寶橋一八、松昌原

市

U

株低落 聢

收穫豫想高

吉成製版

アト軟調を示したのでは、大新一個五十銭安建新四十銭安建新四十銭安建較活力・大新一個五十銭安建較活力・大新一個五十銭安建較活力・大新一個五十銭安建校三十十銭を開から、一番をは、一番をは、一番をは、一番をは、

定部三六九一大連部後町四十

畜產局廢止 段相は絶對

振はなかった大連港中心の

九月中の海運界

一次上記記書の根据と現てしては 変成者の樹語には「世等の効果なき か現て川瀬の市場響での鑑な かまった。

縷の望み

はいます。
 はいますますます。
 はいますます。
 はいますます。
 はいますます。
 はいますます。
 はいますますますます。
 はいまする

受方 東茂泰一、忠興厚一九、 が聚和二〇、建昌二八、萬義長 二七、福順厚六五、廣源泰六七 恒界九二、義順星八、王昌合一 一、昇源三五、聚成莊三、東記 四、豐华二八四、三泰五三、三 一、

大橋で前月職にむし頭守郷出來高一千四百一大橋で前月職にむし頭守郷出來高一千四百十六年、受波高十四年、受沙事 つた、なほ公室根場は最高四個五公標域仰壁は三十八億分の安値である 標域仰壁は三十八億分の安値である では三百五十三軍、受護高では五

(弱保合)

▲ 受方 春來五、益與德一〇、順 整公一、松田一

九月末限 株式受渡 前回よい減少 人物價調べ

五品販服所における株式常願受変 「日本校、代金二萬四千六百六十五 本側の 「日本校、代金二萬四千六百六十五 本側 「日本校、代金二萬四千六百六十五 本側 「日本校、代金二萬四千六百六十五 本側 「日本校、代金二萬四千六百六十五 本側 「日本校、代金二萬四千六百六十五 本側 「日本校、代金二萬四千六百六十五 本側 無一般に心能なりの通りの概能としての通りの概能とは影響を告げ暴騰してる。

大連海底職合會の九月中に於ける 財 月の壁峡高に比し二十八萬三千七 であった大連海域が身体が脱跡に も続らず異常の活況を売した、安敷の極 を続らず異常の活況を売した。 を続いず異常の活況を売した。 を続いず異常の活況を売した。 を変略により完全にハルビン 本側上三五下二〇、小型 ド一〇、ハモ上四下二〇、小型 ド一五、サヨリ上五〇下 をカシラ上二下〇、 活メバル で一五、サヨリ上五〇下 一二下五、ボラ上三五下 カキ上一五下一〇、ムル カキ上一五下一〇、ムル - アワビ上

> O+M 710

炒 豆柄◇前

阻

301.8 173.7 704.0 13.1 264.0 42.3 211.5 57.2 156.0 232.8 34.4 401.8

上二母で向来日桂円和本人的は時局な何り込んであた折極事會の決勝で手仕舞振出、標金丙奥の有性の決勝で手仕舞振出、標金丙奥の大きに安かりとなごころ、物品は一本人的は時局な何り込んであた折極事會の決勝で手仕舞振出、標金丙奥の会は常勝で、時は高野、自耳鹿、 332.7 914.1 709.1 118.2

志醫 五〇二、巻

麻袋見送り 神・糸・一文・度 神・糸・一文・度 神・糸・一文・度 神・糸・一方・一月 一月十九銭六原、十二月十九銭八原。 一月十九銭六原、十二月十九銭八原。 一月十九銭六原、一月十九銭八原。 一月十九銭六原、一月十九銭八原。 一月十九銭六原、一月十九銭八原。 一月十九銭六原、一月十九銭八原。 一月十九銭六原、一月十九銭八原。 一月十九銭六原、一月十九銭八原。 一月十九銭六原、一月十九銭八原。

照六一七・六一八一四元町三〇 强



额受额形計引期

古届行

二長二六番

河南男十

●安 東 行 河天齊作英北湖通常湖,丸丸丸丸木土土土

中 本式會社大連代理店 朝館郵齡株式會社大連代理店 明 本式會社大連代理店 明 本式會社大連代理店 一 本式會社大連出提所 大連市監部通音隻續 大連市監部通音隻續

為 育筋直積 印度

替

相

1.741.7

467.7 318.2

87.0 618.7 200.5 22.743.3 348.8 骨油 40.8 1.096.6 1.017.3 粉 3.086.0 3,007.7 0.0 77.9 耐

18210.0 123,196,2 2.972.5 406.1 18.764.3 8,512.0 949.8

からう。

を動きないでは、 を動きなが、地域であるから知れのが を動きなが、大江に、山東、河南區内は が動きに、湖南、郷州に、海東、廣西、 温越區内は油頭、梧州、海川、 各種校管理處を設置して微取率 を動きなが、大江に、山東、河南區内は を動きなが、地域であるから知れのが を変子をかれては何等場合を を変子をかれてあるから知れのが

は原則さして中央の収入に帰せし続税は前週の知くを合意紙に続て

626.0 1346

214.1 710.8

28.018.6

471.1

は日になりものと自由されている。

三質り

でいます。

排日は斷じて無い

長官たる以上

在留鮮人は徹底的に保護する

熈新長官抱負を語る

州日吉林にて

加藤保敏特派員

洲

南京代表請訓

り事需品を輸送した 三時代の電響が車にて自転車を紹 明東軍智守司会部では三十日午後

關東軍々需品

北満の支那要人

去就に迷ふ

熈氏の獨立宣言に

公文書事件の



吉林省政府 確立に時日を要す

就任辭退者が續出

こよると、

英の輿論

支那側挑戦の

なるに見ゆるも

氏愈な辭職

及び並なる縣長な低命し、これを なって職立を寵問し、省政府委員 を表現の表別を表現した。 二十八日登表したが、二十九日に に駆に静職を申出る者類出の荷響 で、吉林確立の基礎が確立するま でには今後衛人事の異動、その他 微つて 新任並に轉任 新任並に轉任 新経過長 養洪昌(民級職長) 質禁制長 製素棚(長春市政会 所長) 所長) 一教育副長 李鵬恩(吉林大學副 校長)

古林器備與 可甲(天圖羅

左の知ら

辭任せる者

日本は承諾を回答

類種縣長 張騫山(延吉縣長)延吉縣長 姜恩之(峰甸縣長)町善

富分李錦綸氏が代行

公使

就任式舉行 要人百餘名が出席 の首腦

牛旗を掲げ

娛樂禁止

當然

日本の處置は

具際に對し幣原外根より際基なる。『南京特電三十日録』王正廷氏の

幣原外相見舞電

經過良 部長の

にて懸合氏の主なの下に行された。 ・ にて懸合氏の主なの下に行された。 ・ にて懸合氏の主なの下に行された。 ・ にて懸合氏の主なの下に行された。 ・ にて懸合氏の主なの下に行された。 ・ にて懸合氏の主なの下に行された。 ・ をは要人の主なるものはたの如じ ・ をは要人の主なるものはたの如じ ・ をは要人の主なるものはたの如じ ・ をは要し、要人の主なるものはたの如じ ・ をは要し、要人の方針につ 全畿徹氏が取るが配長の事

小と戦ふとて ト千名を召集

と野園一致の歴史を持してゐる となけて娯樂を停止する旨を本告 原東政府は什七日より三日間等施 がおけて娯樂を停止する旨を本告

廣東政府布告

雷然のみならず

法庫縣水上警察局長

露支國境に

を承認してるださ

出航場論に怙縛されてゐるさ『由で目下通江口水上警察分局員 千の學生團

官學校で蔣介で孫にて會見した三千の學生際は十九日午後三 蔣氏ご會見 九日午後三時軍

个的解決必要

井上国四郎子の意見

な情歌を有してゐながら一文の本名補譲道は支那が日本に莫大

軍備一年休止案

心見一致せぬ情勢

三萬の兵動には疑義

人阪屋號書店

シーズン!!勇躍一番

町支持の下に、町刻本校に學生

書方より

ABCの讀方

に依る改版内容倍大 英語入門の好機來る 蓄音機貸與・ 目しコ ド贈呈・新中學令

態度に関し各

英講」は「井上」!!

撤兵時期は決定せず 聯盟理事會特別委員會の解決案 の面目を立て

た、これに難ひ日本は二十九日衆野、支那は三十日それで、顾答したが右解決案は日本の面目を立て撤兵時期をる、若し更に滿洲問題詮議の必要あれば十月十四日會議を再開するの滿洲事態の受解性決党を記し理事會特別委員會は撤兵については日本に信賴し、直接交渉に委ね理事會は一先解散す東京特體三十日襲』祭、佛、嶽、西、伊五ヶ岡の代表五名より成る総融運事會検別委覧會は廿九日夜日支代表に難し 決定しない方法をとったもので、日本は常感答において飛騰を懸くたた、これに難し日本は二十九日衆郎、支那は三十日それ(「同者して飛騰を懸くた

蔣氏の下野は絕對的

するここになるやも知れないで融る前もある.

「上海特置三十日葵」市京、麓東の安脇市郎に敷地で観代表の勝りの名を現て群氏の下野を全員に通覧、映像食廠の総規群氏の下野を依依に安協が成立せば或は影像食職の名を現て群氏の下野を全場に通じ、東では今間の相関は南京代表の提出した一部介石氏の總司令、胡漢民氏の主席は廣東側は南京代表の提出した一部介石氏の總司令、胡漢民氏の主席に上海特置三十日葵」市京、麓東の安脇市郎に敷地で観代表育職の紹果育認さ解へられたが、一部に「上海特置三十日葵」市京、麓東の安脇市郎に登地で観代表育職の紹果育認さ解へられたが、一部に「 廣東側は强硬に主張

由の他なる『長春電話』 能演載戦争方館に赴くには吉林総 の他なる『長春電話』

| 本語は | 一次の一部では表し、 | 一次の一部では、 | 一次の一では、 | 一のでは、 | 一 安協は八分通り成立説 旅の兵の総州潜 抗議書提出

本待つてゐる機樣ださ (本行の大ゐる機樣ださ (本天電話) (本子電話) (本天電話) (本天

諸懸案解決の 外交調査會や設置

来の解決を関り延いて我外交基調を確立すべしとさの意見が育力に暗へられずに講養問題に関する國論統一を回り舉國一致の力を以て滿洲諸懸定候本會等で滿洲常勉の國際關係に及ぼす影響及び今後の外效突衝等につき覧配を軽れる響で駐職節で展示されて表現では滿洲事件に関し説明觀成したその顧大性に鑑み更に七日の 日の福府本會議では清冽事件に関し説明観取したその東大性に戦み更に七日の 日間東軍司令官及守備司令官の支際原城内領事館出張所にては廿七 我布告文を 大半剝奪

開原城內支人

た國の政府に對し一

職髪加の揺除

表、現代が人税は六アンナであ

日本と直接交渉

を借らず

東北外交委員會主張

(日曜木)

奉天に引揚

月一日中に吉城に飛掛げるこさに 松が館が全く空間に踏るただめ十 数化の動中であった榎本支際は鞍

敦化出動の我軍

けふ中に吉林に引揚

錦州政府

宣誓式

満洲事變と樞府方針

電では、変形車が組入に触ぎた奥へ が根禁困難な模様である、熱し我 が根禁困難な模様である、熱し我

復歸困難

等干徴せの方針である『長春館』

電 大學内の臨時政府事務所にて管警、大學内の臨時政府事務所にて管警、大學内の臨時政府事務所にて管警、大學内の臨時政府事務所にて管警、大學内の臨時政府事務所にて管警、大學内の臨時政府事務所にて管警、大學の裁解教任人の他により交通

り、刺を通すると大きなガラン の職生所、新長官公署の門なく

につとめ隣邦

書えたものだ、獨立を資電するまされがら庫を繋のに乗らずっても切れない關係にあつた際治 国民庭歌劇を魅え、道を変核するのでも切れない關係にあつた際治 国民庭歌劇を魅え、道を変核するが、解を根機するまで無代様氏をはゆ てられた植物のはためきに力強いかい太陽の光を冷びた、新しき政 古代新長官公職を助ふ、軒並に働かかい太陽の光を冷びた、新しき政 古代新長官公職を助ふ、軒並に働いかい太陽の光を冷びた、新しき政 古代新長官公職を助ふ、軒並に働いかい太陽の光を冷びた、新しき政 古代新長官公職を助ふ、軒並に働いない。

したいが何分二十年し後はない るのだ、本東なら日本語でお話 を育になって初めて打き面實す

野来たる鮮人間 あつたが、自分が あったが、自分が あったが、自分が

が最近に至り南京政府の手を借らず東北自身直接日本国東北外交委員會は連日會議を開き滿洲事變の善後措

對日戰





英雪字帳(全)



別冊八大附錄 和辭典贈呈の特典あり館に學費全免・井上英



のある者なら皆知つて居る。 有すばかりである事は、少し等 である者なら皆知つて居る。 のある者なら皆知つて居る。

交通、中國銀行は廿八日際製少來一聚天市政公所では準備整ふさ共に

開業準備

辨理

岩光市場主任らが三十日午後三時長渡吐食器長、大久保財務課長、

卸賣人廢業後の

現在影響してゐる性質響について のさみられる

現在影響してゐる性質響について のさみられる

現在影響してゐる性質響について のさみられる

現在影響してゐる性質響について のさみられる

現在影響してゐる性質響について のさみられる

善後處置と影

市場は残留組で經營

市長詮衡委員に

▲ファントマン氏(駐支編公使) 夫人令息同伴三十日午後五時出 帆の武昌丸にて結任 ・ソーンヒル氏(米國陸軍 か佐)同船にて天津へ

大連第二中學校動務テ命ズ

開東廳群令 三十日附

非難の聲あがる

各派譲らずいづれも小田原評定

一四六〇 二八一五 時より土肥原市是以下各議会場外、本日根保局である。本部を教金の徴数を開始するに決した。他と微前の不能誘致に頼するに決していません。

東京三十十号 民政際は花満洲東欧門のため戸田庇美、小山倉之東欧門のため戸田庇美、小山倉之東、松尾四、、代田高太郎、殿見の五氏な深遺するこさに決らた一行は六日田景するが、木樹三四、木村秀美殿でかった。

快に强徳歴史を執るべく趣趣すべ」とに根護倉職能の密『奉天電話』を課能と政府及軍監視に鑑惠表練』上に根護倉職能の密『奉天電話』を課題を選択した。

を本個側端に繁製を織けなり天液、 を変成さら目下行成ならて映製地像を 変氏も目下行成ならて映製地像を 変氏も目下行成ならて映製地像を ながせてゐる『奉天電話』

奉天稅捐局近く

税を

民政黨慰問使

の廢業問

題

「現在組合の保有金は極めて少く が支機に機能でたのである、され

も標出せざる以上は市場規則第二

語學校生募集

るものと認めても意文ないこと 比較的有難階級の者には朝望 校に通はせる事の出

人氣引立ず

大豆反落

ム更に眞意を訊

市當局の善後古

か金

文排には 常然組合動の支 大きはこれまた常然であらう、配 して十三名の歴史後におけるが重ふ できはこれまた常然であらう、配 して十三名の歴史後におけるがである。 を歌響されて市場は競や組を助 を歌響されて市場は一般が重な においては最近所に市場を においては最近所に市場を

新席科、H席科技谷学観に春代の 事になつたが、この際変形科、支 をある十月五日より後脚を開始する

で無難順下の假校舎に開校中であて 不谷科共前野校では九月村日か以

では目下來連中の第一生命保険 矢野氏歌迎會 岡山縣人

社

說

旅順要塞司令

長には学殿氏

立派な武人 入谷少將は

大谷少將略歷 明治三十六日小將大正三年十一月少佐、同七年八月中佐、同十一年大佐、同七年六月中佐、同七年八月中佐、同七年八月中佐、同七年八月中佐、同七年八月中佐、同十一年大佐、同七年八月少將に建級 第十一師風長に樊戦の報を贈じば 厚東中將語

大谷一男少將に内定した ・ 一東京特置三十日線 | 旅順要素引 ・ 大谷一男少將に内定した

全滿邦人大會を開い

我當局を鞭撻

する

ける奉天有志が協議

後任に大谷一男少將

生は多く親の形がになってるる 生は多く親の形がになってるる いたら何か苦人で今野内地等の裏から何か苦人で今野内地等の裏

似規定がそうであるか 内以行十五 迎款書投 すらさは集中

たいさいふべきできあるこいふちとに使ったまですある。「使さなたいさいふべきである。「使さなたいないさいなべきである。「使さなたいない」 で立派に料金な定むる事が出来

● ではれば親の厄州になっても を製物の大部分は製生館らが電

を出す必要はあるが、数人のあ を崩者には物理療を出さないが が合理的であるといはれるけれ がも、これが下傾に通じない際 であると思ふ。

お答へ

る事が合理版であるさいふ経織 になりますが、如何です。 になりますが、如何です。 になりますが、如何です。 ち見て遊明な方法ではないですないないを配撃性の挑聴かないを問撃性の納聴か

お答へ 夜墨生の選舉割引券 についてはさきに御返事申上げ についてはさきに御返事申上げ できれ以外に申上げるこ さはありません。これに關して さはありません。これに関して ではありません。これに関して

東新九圓臺

內地大引軟弱

市 沈二十

者からは可成取らないやうにす

者からは続り取るが金の存るなる。個額のて青へば金のな

本間の者革の大る京のでである京都事業をできるでは、 一本語をできるないできる。 一本語をできる。 「本語をできる。」 「本語をいる。」 「本語をいる •內容見本進呈• 會員募集

目愛國者 王外長の負傷

感激の 吉林同胞 知らせたさに焦る心

の安否を

「「「「「「「「「「」」」」」」。 「「「「」」」」 「「「」」」 「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「「 」」 「「 」」 「「 」」 「「 」」 「「 」」 「「 」」 「 」」 「 「 」」 「 」」 「 「 」」 「 」」 「 「 」」 「 「 」」 「 」」 「 「 」」 「 」」 「 「 」」 「 」」 「 「 」」 「 」」 「 」」 「 「 」」 「 」 「 」 「 」」 「 」 「 」」 「 」 「 」」 「 」 「

たゞ一本の電話線を頼りに

斷

片

五百旗頭佐一

せう」を繰ぶるく、電話なかけてはかりませのがにはどんなお手幅がでももまったはどんなお手幅がでももまった。この経営お成形人の機能を繋びているを表しまったはどんなお手幅がでもるまった。

者 てるるのだ、それな一々其機能に なっぱんく 吉根在部形人一人々々能

民物派さこの二つ

交易所受渡しに

| 「こさなく、いやそれのみか土脈できなく、いやそれのみか土脈を見られては秋ぞも根。

市場電報

商

日本金を使はぬ

上海金融機關の排日

の屋部養職を提続して見よ▲今の開業さど彼此地談して見よ▲今 大の清州事塾について、日安双が

く飲身れ努めてゐる我軍

しないを考へてる

・一大変のでは、一大変のでは、 ・一大変のでは、一大変のでは、 ・一大変のでは、 ・一大変のでは、 ・一大変のでは、 ・一大変のでは、 ・一大変のでは、 ・一大変のでは、 ・一大変のでは、 ・一大変のでは、 ・一大変のでは、 ・一大変のできたが、 ・一大変のでをできたが、 ・一大変のでをできたが、 ・一大変のでをできたが、 ・一大変のでをできたが、 ・一大変のでをでをできたが、 ・一大変のでをできたがでをできたが、 ・一大変のでをできたがでをできたが、 ・一大変のでをできたがでをできたがでをで

た脈液織十一戦中六戦 ダムス氏は今年度設立 がある氏は今年度設立

五千萬弗を削

驅逐艦六隻起工延期

おにフーヴァー

努力で高く午前一時再び長裕さの下すつた、かくしてこのお二人の

時か止まつた男子の報人は何れも 述べるこさは郵飲料されるこさで

職その表へ放車で知る で知る

は一般の変となった。金架製品 すること、なった は一般の変となった。金架製品 では一切アメリカ金銭のみを使用してもたが今 機が必要では 数は一切アメリカ金銭のみを使用してもたが今 機が変には外ででは しには金塊の代用として日本金と けん できない ない は しには金塊の代用として日本金と けん できない できない から しい は から できない から できない から しい は できない から しい は から できない から しい は できない から しい は から できない から しい は から できない は しい は から と は しい は から と は しい は いっと は いっと は しい は いっと は しい は いっと いっと は いっと い

一部制採用と人員 「東京三十日参」探称院歌橋に置して は名大配に保険を表むるさ とて脚切大館を低齢する事さし、 に動低二名、美低十名、蜆低 に動低二名、美低十名、蜆低 の人数を繋すべく目下部屋 のの二部駅を採用し、砂低級 のの一部駅を採用し、砂低級 であっ二部駅を採用し、砂低級 であっ二部駅を終める。

拓務院職制

さ不能から思つてるたが、それが、なんてきう戦戦に称へても合ない。

を唱へたのであった、長春縣まで

(日曜木)

幸校

日 部にも永い間西洋流の帝國をよい間西洋流の帝國を表示、 (表に豊かで5) 内建の位民地的帝國主義のない。 まに豊かで5) 内建の在民地の音の主張根ので、 等に見來外此の甚式思想のなって、 等に日本を疑び

日廷周璽

りが敬すべき本年四月沙倉・中に即覧人さし即度人十三名の呼樂につき現に聞して加賞人よ つてるるのに主要者にその支掘数料一割中一分五厘に實質質費手敷料が規に未擁になっての市場理物微減金六千五百圓並ないここである。 行されてかり、而し組合は現在船一戦す本年座の総職機即は元然組合員全部で三年 年度分の聴聴し 電場 村 して あるこさである あるが、これよ て市場を使用した

が要なして概らて を組合に納めて が要なして概らて が要なして概らて

で のない良民に難し、聚線無残の行 のない良民に難し、聚線無残の行 のない良民に難し、聚線無残の行 のない良民に難し、聚線無残の行 乗する所、良民悉く物かされ、そ の歌手に職ひさる▲これが支那官 概 和小女大事態後早くも十日本 を受ける。 を必要がある。 を必要がなる。 を必要がな。 を必要がなる。 を必要がなる。 を必要がなる。 を必要がな。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 をのがな。 をの

對洋一萬七千個

海標金の保合を眺めて宮市綴る 標金保合 ◆定期取引(単位額) 當市不變

英語器カード 英習字手本 少英語讀本辭章

間マイ・フレンド

資本金 二百萬圓(梯込濟)

實に御取扱申候

のきんとん

営養價高い物を

望ましいお子達の學校辨當

學年別のおかず色々



(六)

幼稚園兒に 里平肉をぼろか

畑中アヤチ、牧野義俊、渡邊い、大谷編太郎、篠原つし、三宅非満洲子、加嘸かれ、西村八百子中村阀治、柴田、大越則子、大中村阀治、柴田、大越則子、大中村阀治、柴田、大越則子、大田村(治・東田、大越則子、大

錢麗

牛牛牛牛牛牛牛牛牛生生 ヶ月のの



表した二色刷 が 手営を がしい 一番を で愛 から誕生ま

の 別冊附

の行の値 大があ

國英 現代新人の嗜好と味覺とに 製菓界の曉星 ーのトフサ (正蛛四封度化粧罐入)



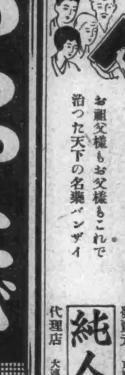
11



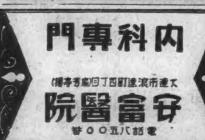


店理代總袋足やちつ 店本行洋連大龘 季三五二〇六 吳話電



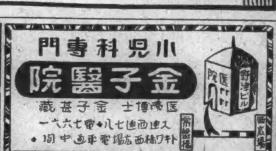












婦人會の活躍

らに難して炊出しその他

で対全市民間では、

到底及けず窓に第一窓は一ある

敗殘兵馬賊化し

暴虐の限り 部落に押しよせて大掠奪

婦女子を人質に拉去

悲惨な鮮農

脱兵が機行と暴行掠奪数少の悲歡

○の農家にサル日午前八時ごろ十八公安隊員掠奪

避難鮮人八百餘名

暴虐な兵匪の非人道的行為に

漸~重大社會問題化

「無順」暴感なる原共に迫はれば 民参戦の出逃へあり萬器整神の下 は を改装しまれに登戦せる総製二十 をの禁しまれに登戦せる総製二十 をの禁しまれに登戦せる総製ニ十 をの禁しまれに登戦せる総製ニ十 をの禁しまれに登戦せる総製ニ十 をの禁しまれに登戦せる総製ニ十 をの禁しまれたる。 をの禁しまれたる。 をの禁しまれたる。 をの禁しまれたる。 をの禁しまれたる。 をの禁しまれたる。 をの禁しまれたる。 をの禁しまれたる。 をの禁しまれたる。 をのなる。 をのな。 をのな。 をのなる。 をのな。 をのな。 をのな。 をのなる。 をのな。 大十名である際氏の最も無みさせた。本人主名である際氏の最も無みさせた。本人道路であるのみか像を悪げられた民は今日の日をか何にして空の程をがある。本人道路変形がからずな道路であるのみならずれた特殊共変者数形は今や御殿では、本道路を開発がからない。本人道路変形がからない。本人道路変形がからない。本人道路変形がからない。本人道路変形がからない。本人道路変形がありません。

自警團に長統

男兒の志》空し

「多天」故画を離れ張々湯洲まで 一般を栽めに来た器いルンペンの行 一般が対点では、は風霊の志を掛て戦を を対して、は風霊の志を掛て戦を では、は、というでは、 を対して、 をがして、 をが、 をがして、 をがして をがし、 をがし、 をがして、 をがして、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし 遙々滿洲にやつて來た 青いルンペンの行末

守備隊の凱旋

連を出著して連続の親は縋らに被 門养戦、院職都吉氏の谷委就はつて行くこさになり仕七日大 三宅送水郎、売井密製、地料覧しからないので更に吉林の知人の評 極極監三郎、中山藍、旭山裾殿、つて戦を郷とても遊籃な職が見つ の橋田拠底、在北春助、製平殿前 軍隊を慰問

全部を徹底的自供 0 金銀兩替停止の恐慌救濟の為 ・精瀬家になったので風管が軽減 ・精瀬家になったので風管が軽減 ・流入する鍵 ・流入する鍵 撫順炭礦當局の對策 日常必需品 に於ける総公定権場権事情の鑑証据してるた

【公主論】公公職附近に移動暴験 を選しうし各部落を売しつ、あつ た大水の脚駅賦は大脚駅駅の緊迫 した之がため我軍の一個小駅 した之がため我軍の一個小駅 鮮農達を護つて が使入し現大洋六十元を観彩速走を支那総が膨成に一名の学・総盤を変しまり、一名の学・総盤を変した。 拳銃强盗侵入

邦人悲壯な決意 八棵樹に危險迫る 東た総製の質話なそのまと

鮮人拉去さる

東せしめることになってある之が ため要車時間などは見恋もつかで ため要車時間などは見恋もつかで にならの不自由さである。故に本 が進り弾車の運転が何時後するか がになられて自由さである。故に本

会官、多門第二師歌及、森川電水 教職せられついわる本田園東軍司 大日委員長の名を以て時間のなめ く來會者多數 に於て滿洲事 要を数み追憶素の三十日午後一時さ 追悼會

軍隊に慰問状

る

老母鄉

共にとつては金し行職い間でありからないといふのですから、一根

電話三〇五番

サ九日長春より

往來

し職つたり近しますと大歌な行ですが、此自婦は崩れないのです。 一へれば決難よく寄えるのです。 一へれば決難よく寄えるのです。 脚毛がよく利き二 原立ちません。 原立ちません。 原しろ山くみえ

(人俵上川本一)たつおの丈助幅

種。化粧法

ではからサータで様がを強から顧いまっり石献を用ひますは勿論、 それからサータで様がを強から顧いますは勿論、 間で此頃流行つて居りますが化粧 知つて居ります若い女の人達の 坂 東 簑助 丈

覺

現在のキュラの姿は本年限りで御座います来春より時代に順應し大々的改築を行し面目一新したるキュラの晴れの姿をしからの溝洲一の熱築境を出現せしむべく只今考案中です其時こそキムラの晴れの姿をのキムラを活目して御停ら被下度本年は現在のキュラ最後の御奉仕とし料理に酒のキムラを活目して御停ら被下度本年はで撲撃を重ね平素の御蹇順に酬いる為といます。

この際を期して 稅捐局撤廢請願 安東附屬地商民起つ

留守宅慰問 出動部隊の

图 田 原

ので製所の配像を脱にしていて、十名の単版現はれ南道を開始した

官兵三名
省傷

匪賊團と衝突

が挽去されその所在全く不明であ 時局ナンセンス の戦入は全部撃敗艦人の所操である近きな日本側から見れば純紫たる不 る上日本側から見れば純紫たる不 を「とこに聞から見れば純紫たる不 るが短きは節じて詩容すべきにあ かできなし、 が短きは節じて詩容すべきにあ なが遅きない。 が短きない。 が短きない。 が短きない。 が短きない。 が短きない。 が短きない。 が短きない。 がない。 がない。 できない。 がない。 できない。 をもない。 できない。 何者かに所持記は全部事はれてる

変いた。 一般した先づ北京 高地に於いても

サ

ワ白粉の

風言。

化粧

0

をの化粧としましては完成ですが、 をの化粧としましては完成ですが、 をの化粧としましては完成ですが、

◇樹野無鉛で地肌からの美しさに

剝落ちぬ白粉

の焼き粉を水で薄めて、染刷毛での焼き粉を水で薄めて、染刷毛で

快氣祝ど

三木元子女史

だにこととし、「電腦」・電影販西昂堡村島频率の

大人を続す野戦の時局ナンセンス信を 「大きなすい。 「大きない。 「たっない。 たのな景見とた時級強い彼も全くたのな景見とた時級強い彼も全くた野深酸とたそとて列車が二十八大野深酸とたそとて列車が二十八大野深酸とたそとて列車が二十八大野深酸となるでは、着するや足な機両が酸いたそとて彼はホットする間もな 銀行し勝烈王歆を加へ行路網著れ東天聖からは便官ニー れ郷天聖からは保前に部島野風がさ化せんさする時通行人に景見さ くこの苦味 したかくて満洲の土

電型」総山級立張像W第六大隊 と個は地が事務所製金川園橋氏持 製と四平様に在る大隊本部を接職 慰問袋を 軍隊に贈る

杉木、西田の

ーワ白粉下

関の小散で

額のかへも強

30

六助の史郎五津三

一サーワロ紅 附けます 間にの中へ入つてゐる自称も注

人自

意して排除致し度い

ものですが、

及

理

ーワ自動は不思議なほどキ

対果の縁るものでございます

------- 店商の等吾

外の服洋紗羅

野

貨雜

食く洗び火整へまして、滑かに

御、頭筋から胸、

第一座時野

ミッワ石酸

お傾向かて

でにきつた かが脱載なり入浴なりを残しま がにきつた

で化粧しますか、或ひは

マスボいは、サーリデアニシング リームの少量を製込み、共脉へ リータル色粉白粉を刷付け、之な でしまへば、白粉を でしまへば、白粉を でしまへば、白粉を

進世

文章のは、一度でいいでは、 たサーフ域が粉を、サッと流び流 たサーフ域が粉を、サッと流び流 がかまる。 はいば、一度でいいでいた。

諸

サーフ固煉白粉

に成りましたが、此件製の折には 書通粉化粧が好いとされて居りま

大きな歌いて歌行けるのです。 いでございます。そして脱脂線が便 でございます。そして脱脂線が便

い、と思君すだは、郷めに 実際化戦の方が自然らしくて好 実際化戦の方が自然らしくて好

交或ひは、

安全経済便利

石油耐燃とアルコールコン

不安な北寧線

ちのの 遺族か して動物配を

、 及標準を 元へは も

それから粉

ナーワ粉白粉 ーラ類紅

追悼會 粉白粉を形成にお解画で

石鹼は別 と不能を嫌けれる向もある 中科 福助艾

目。

と云ふのは それも微つばなして居たりしたものないと云ふのでき続け続か使び 鼻: 立。 坂鮮

東三津五郎式

からもう一座樹へは開始な、又師町へは脱色水白粉を附けますので、 では脱色水白粉を附けますので、 た一般に薄く引きまして、それかことの所でサーワのヴァニシング

世 常 進 緒 方商店

田村 商 會 職 支 店

文物自物を布に附けて爪を続け

て、立派な英爪佛に成ります。

電話五一〇番

を管立即接一たしまめ始を いる下較比例な設備を物品 車車 町業背市順應 商 春六八一話禮

吉

方。 酒商

生ぶ洋日リみ 氣 祝と御返禮品出産祝と御返禮品 たて 髒う梨梨ご

品質特選 多少不拘配達迅速 旅 縣 驛 前 月見農園賣店 電話六二〇番 旅順市月見町 見農

本ん

順 商 店 內案

(度文ワツミ)

舞古手の丈助竇 なさるが宜しく、何れに致せ出すーワ白粉に依る粉化粧は、殊更調でふつくらと楽がみな出しまし 魔この洋樹の城の化粧には特に いるが宜しく れから開掌展脚は勿論、着用 通し度いものでござい

ツ肌色粉白粉

旅

(報山) 総山野祭署帰構内派出所

を掘って居るが二十七日第二十二 を順きしたので軽点が含め下に該手術 見したので軽点が含め下に該手術 見したので軽点が含め下に該手術 がを顕きした。 のででは、 を順きした。 がででは、 がでででは、 を変えるできるが二十七日第二十二 ででは、 ででは

教育会全部財 市内管理 対議会全さして金十回也をサハ日 を表現で、一型氏は登成者 を表現で、一型氏は登成者 體育研究會

常習無錢遊

手荷物に拳銃

から衛生小学校にがて開催された。学家の儒育研究會は昔日午前九時一時の儒育研究會は昔日午前九時

御めて

れは時間のため質分延期に決した。 戰跡視察團

際院の大警車を行つた総果有職者と行って総果有職者との大警車を行っては二十八日公費の人情はると観察地方委員選舉に

公費滯納整理

嶺

人職は軍を全市に取り影響とは、一人職は軍を全市に取り影響に由り

山縣道日本タイプライタ

在鄉軍人活躍

電話四六九二番

ピツクアツブ 佐井田洋 行 競型 アパルブ アクルブ

遣派

欧浦手足の捕む御方様

大学直ちに参します。

秋風立ちて、感胃期來る油断大敵倒れの先きに四ツ目印にんにく葡萄酒を常に登せ萬穀製織、健胃整調、輸入網に効果律大東市山縣道大連市山縣道 軟 糖 糖 素 病 病

胜

教養

泉温子崗湯 3|割賃車汽

大連市岩代町十番地

壽堂醫院。 電話八五九九春

信濃町一三五

水村屋本店藝市場前

阿拉拉莫

音動には四二四

上品なサー

K ス 一個五十錢迄

花

の事件を機會に無軍閥を一齊に東

今自警団に寄贈

瓦房店小學校父兄會に左記の寄贈

父兄會に寄贈

奉天省復活

待合室で急死

がる無難延りさなった低しが歌の歌・ナ 大父兄の待わび居たる戯だったが之 一月四日施行の運動會さ遠起さは止ー ・一月四日施行の運動會さ遠起さは止ーー

大連連鎖街 大連連鎖街 大連連鎖街 大連連鎖街 大連連鎖街 関節喫茶店

運動會は中止

房

雇被 度年整者英文通信賴課經 理事務水經驗有勤務臨時 發生整者英文通信賴課經

譲店 冷河口目接の場所カフェ

亜甲に限る

美少 女二名至急入用

度紙 保神に家庭向護用の

改名の計畫

新古 金銀白金水イヤ時計高質 電流二二六番 等外月二二 鈴木金屬堂

天津 ボーズ 天祭堂

发衣 表,日極町 三浦屋

出荷漸次減少

奉天の物價

平常に復す

近く内地に引揚るが水年鞍山に

濟生會に寄附

鞍

大手 はなます 一時間修繕 中央試驗所御發明肝油入 屋 大連市信濃町市場前

質

女給募集

蕃

家政婦(題派遣

岡部紹介所

器三〇七三章

衛和電腦送 通關代制

Torigonoum.

Torigonoum.

東京 二十球 登組五拾建
東京 二十球 登組五拾建
東京 日本 橋 楽 局
環話 ハ 三 六二番
接替大連四四九七歳 ンパロ西郷

た本領の東京に関する またのでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないでは、 は

産 万人の病は婦人の手で

秋の 34 料理の提供

ビスは断然大連 させない 御料理と

スライオンへ の大改築と

ル

大路路域大大大 **入醫院**

同同

上上

宛

宛

五圓券

では「一人」というというという。

商品館

商

品品

枚宛

同

五.

宛

圓千

白

同

一枚進呈一枚進呈

日より アペツトランゴード

印范

記

念

はは、これにはいるとのである。

一学主風 呂崎一部方は

皮

-1000六電·五二町野吉連大

治湯泥

始開

11

井上醫院

生殖器障碍 腐病

EAUTHOUTH

一番。電八九四八番

に 茂剛 宣統帝師婚籍提玉氏は を二十八日歸族したので時局標氏 を二十八日歸族したので時局標氏 を二十八日歸族したので時局標氏 を二十八日歸族したので時局標氏

即を対局は子

要 主 美濃川五七巻地 子 一八六六

古市運送店

为府 續於 電三二〇九沓

大連横番前電話八九四八番大連市派速町五丁月二百一番地大連市派速町五丁月二百一番地

音器

大連近江団西広場角電3910

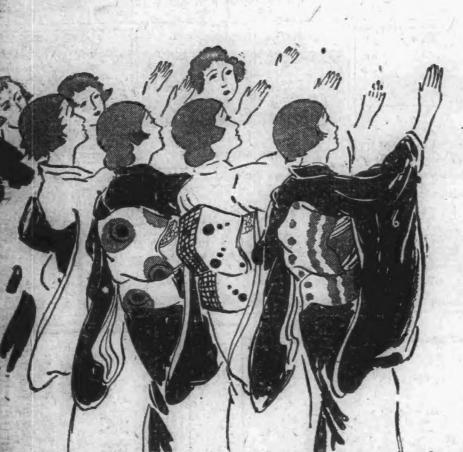
大連四通・常監備・西廣場中間
電話七五二八季

味覺の秋?

號三十三百千九第 (VILLENGES)

社会式株泉鏡河事本日 兄親ルービンオニ

大 連 町





皆様の御越を雙手擧ゆて

主婦始め三十有餘名の

女給が

お待ちしてるます



11









一経對高級親切なる大衆向 日本生娘處女サービュケ給は絕對純眞なる





名であったが、三十 を際結する

出演が

野外集會は取締るから安心され にいさ答へた にいさ答へた でも、萬一の際は日本棉花社員は でも、第一の際は日本棉花社員は でも、第一の際は日本棉花社員は である、他 でも、第一の際は日本棉花社員は である。他 である。他

判決言渡

三木氏は懲役四年

第五十九屆會で小児保敷が通過し 二龍以上六十龍に関られてぬたが で小児に関られてぬたが

簡易小兒保險

支那學生協議

日

|百四十名の支那所兵職本し、同||のか声戦したるものにて、報か聞くに世七三年前六時頃級||リ次節に振鶴破職し、食城||報西安大庁痘の邦人縁が無路の||地原代内地人の家屋に使入

邦人婦女心虐殺

西安縣長が日本側に謝罪す

皇后陛下

傷病者をいたはれよとの御言葉 繃帶を拜受して杉山次官謹話

は避難のため混亂しでゐる『鐵嶺電話』(焼せしめた、同地公安隊員は逃亡して全く無警察狀態となり、鮮人人二名を虐殺し、さらに三家子、灣家溝部落では鮮人家屋に放火全人二名を虐殺し、さらに三家子、灣家溝部落では鮮人安子五名、小川原縣下上肥地に三十日朝約百名の敗走兵襲來し鮮人女子五名、小 敗走支那兵到る處で 公安隊は逃げ無警察狀態 丁を虐殺 古林、長春間通信復活が、十月一日には完全に緊連する、低し緊緊連係に関連するが、十月一日には完全に緊連するが、十月一日には完全に緊連するが、十月一日には完全に緊連するが、十月一日には完全に関連するが、十月一日には完全に関連するという。

鮮農保護請願 安否氣遣はる二千餘名

の取締を脱にし、疾に日本人さりからの抗議で践行政長官も極力それがハルビン機領事をからの抗議で践行政長官も極力それがのルビン機領事を

に離れる開東職管海原では中谷局 に離れる開東職管海原では中谷局 長以下三千人に近き巡査巡掃まで 全く電布を分たす不賦不供生命を 会く電布を分たす不賦不供生命を 会く電布を分たす不賦不供生命を 会へ電布を分たす不賦不供生命を 会へ電布を分たす不賦不供生命を 会へ電布を分たす不賦不供生命を 会へ電布を分たす不賦不供生命を 会の臓を致いてぬるが、 ちねやうぶ公の臓を致い たの後この聴察官の源ぐましい活 避してるるが同局では をの後この聴察官の源ぐましい活 避してるるが同局では をの後この聴察官の源ぐましい活 避してるるが同局では をの後との聴発官の源ぐましい活 避してるるが同局では をの後とのである。 をの後とのであるが、 にかずると地に一層 にかずるとない。 をのでは、 をのでは、 のでは、 のでは、

哈市の不安

漸く去る

在州邦人歸還

時三十五分費にて最後の大都分は ツく 帰還してゐる は時間の平定をみたためばつく つあるから不安も一様しを粉にな確せとめるため全力をあばは時間の平定をみたためばつく つあるから不安も一様しを粉にな確してるためと力をあばればいます。 敗兵と二時間 守備隊交戰

のが出動軍

では、 一学では、 一等では、 吳家屯で五名射殺

嚴冬の分宿も準備中

けふから冬仕度

はかられないので十月一日よ 接を解外さらて平板では飛却げが何時になる 機道部長名な場で二条の脱毛は既に目前に迫つたが | 獅く霧付いたため世

際のわが鎌道守備兵下

院醫原相

其正

進種。の

(松の翠)

築

養

11

物平常通り

沙河 ス運轉 口 東合の造花は何日も 大連伊勢郡通り 魚谷造花店 電話六八七七番

近することさなったが、常然福始 により歌 沙河口味行バスな十月一日より流電バスでは船ての肥皂であつ 小平筋始要年前六時総費午後七時まり水平筋結要年前六時世分終費午後六時世分を開け、原代の時間が、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本のでは 日本のでは、日本 急よけふ から

流石に秩序の維持が完全

懸賞尋人 田加斯方



プセ 丰

軍話九一三四番 咽頭頭 并波 吉 院

機關雜誌校連語學校 大連市港層町二二(建築町電停北へ) 大連市港層町二二(建築町電停北へ) 大連市港層町二二(建築町電停北へ) 就 內

反日團が盛に發砲 命からなく虎口を遁れて歸つた 田中鄭州領事語る

小石川大和町の中郷県

沙河口署で慰

問袋を取扱ふ

平常通りに 貨物取扱

るさころあつたが事態も一 連絡線の現狀

東京市疑獄の

沖流し看本

青島支那學生 (香風特體三十日曜) 常島野生物

ラグビー規則改正

日本ラグピー協會で

8

近く所屬團體に通知

事態所く線和せるため三十日午前のひ事態版では、 同び事態版をに禁つた軍艦機能は、 を得て命により置削からが悪へ

外定がより一層至純

温明、運送の便宜上一般居一住民よりの船間殺し

流する事さなつた同様である事でなった同様

各方面の慰問に

警務局感激

慰問金は州外に

をはく、ことはないである。 の地域では近い、市して付い、市して付い、市して付いる。 では今時を記り切り、での高さで投げ入いでの高さで投げ入い。 では今時を記りの注、この規則は従いである。 ためのである。 ためである。 たものである。 たものである。 たものである。 たものである。 たものである。 たものである。 たな必要さする。 でを必要さする。 でものである。 ことが、市して伸い にない、市して伸い

六大學リー 明大勝つ

グ

で際治総局四野一で影響した中で 對慶大野球戰

佐郷屋の公判

朝顔旅順歸港

第二、四、六の三=南東京地方裁判 一二、四、六の三=南東京地方裁判 一二、四、六の三=南東京地方裁判 一二、四、六の三=南東京地方裁判 一二、四、六の三=南東京地方裁判 一二、四、六の三=南東京地方裁判 十一月初旬開 吉野町の小火三十日午

クヰーンベッド

O

0

0

秋か来るした

否

電型四六三番

開店披露

日

御大ち會利小り席

用御寄御

を宴鍋料

會其理

に他と

御料理

理かみ

ひら 八八四一番

E X 場馬ルトクド 江庄場馬

英國 ギーブース 會社英國 タルクロウス 會社

能

堂

科科科

舶來化粧品專門

興永陽 二六〇五 三二大一二 八五四八

勤續市吏表彰 日午後二時から民政器養養

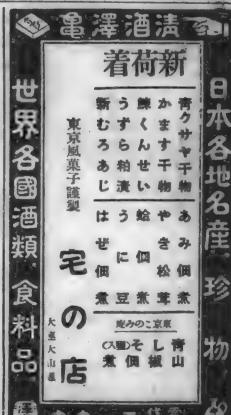
総祭を行び越繁に養手されるたが同館は十一月十一日を以

今後共告様の毛糸店として御引立の程偏に御願申上ます。一个後共告様の毛糸店として御引立の程偏に御願申上す、何分不行屆御不滿の點多々御座いましたでせうが取込中の事とて充分の標の御厚情御愛顧の賜と深謝申上ぐる次第で御座います、何分不樣の御厚情御愛顧の賜と深謝申上ぐる次第で御座います、何分不得の個厚情のという。

たが同館は十一月十一日を以て地を対して臨時間は十一月十一日を以て地 大連市西公園町一〇七巻 業 業 洋 行

帝室博物館地鎮祭 青年號の勇士

渍 8 8



て「大いが前を出しての窓が開いていたいが前を出しているのの窓が開い

添勝野間清治論

木荒

英語獨習の好機

一次語の影響をうけて、必須続く

一次語の影響をうけて、必須続く

一次語の影響をうけて、必須続く

一次語の影響をうけて、必須続く

一次語の影響をうけて、必須続く

專賣店 定

〇一種七四十一種と

笑黑然

堂屋堂

房店局

州金待新兼

澤の

*庵

黄

な

から

三日四

五六七日

八春

三三年初段 非上土

の唯一つの窓だけが――昨夜マリッケき、洋館の機にさまよって行ってき、洋館の機にさまよって行っているるこれである。しかし、三階 今度になた治って力また打ち叩いた。 類といい となって かし ス 製 を 観は ぜる。 しか し ス 製 を 観じ ぜる。 しか し できたく 肚三の前に 閉じ しゅっこく もあけ

大放意

原町三ノ八三百九號)便四銭

連

JQAK

H

▲新日本民誌 ○創刊號)民 第それは異國にあるものが世國 第一次でする如くに我々に懐 の二字な愛する如くに我々に懐

おけみが日本館の庭をめぐつて をがふれたやうに織の殿を打ち叩いてあるのを見た。薄い袖なしシャッに繋いメポンをつけ、髪を振り 「聞ける、関けないさ、

▲午後○時三十分各地相場ニユー 後三時三十分各地相揚ニユー

八時五十分

京

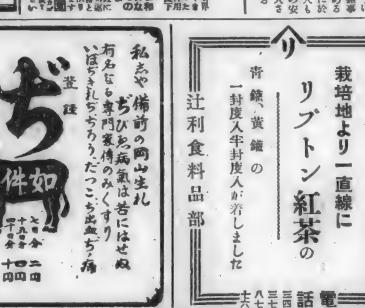
神病消渇に此の名葉あり 無効返金 責任製剤

院施

は上きる大山

(入瓶體液)

本利は大力は大力は大力は大力は大力は大力は大力は大力は大力は大力は大力は大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のには大力な、一方のでは、 知らすやかずに仕事もでいす。 「現 實 店 町 下 様 き か で い す で か す で が す に 上 中 海 美 で い す す で い す す も で い す す か で い す ま か に 上 声 は き 大 と で い す ま か と で い す ま か と で い す ま か と で い す ま か と で い す ま か と で い す ま か と で い す ま か と で い す ま か と で い す ま か と で い す ま か と で い す ま か と で い す ま か と で い す で は で い す で い す で い す で い す で い す で い す で い す で い す で い す で い す で は で は で は で 私



||| 辻 利 茶 店川 三共 4 至 西 話 電 三



(N)

された幸福な心の中で脱離してる彼女は世にこの兄の手から、題ら

野 想

多

(65)

は十分の一、大 好せず、 大衆的理想の滋養强壯料なり連續飲用に適して、費用僅少 にて充分、 一日の量僅に茶匙に輕く一杯 歐朝氏部太皇合何土博學環 濃にか 下痢を起さず、 **榜學諸大家實驗推獎 帝國殷明繪會** 日•英•米•佛專獎特許 化萘工栗薄質會經

臭味少く、

胃腸を

説・椒文

最も

大人極大量でも

こ違って、

小倉唯一の工場に見味を受されてつや

月下公認請願中

捐織物専用化學的新發明

毛糸、 くべからざる必要品なり、毛織物、絹物の洗濯に For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGC9ID

に時間貸練習もあります。 既 且 つ 分 納 大連日華自動車講習所

御家庭 奥様の御嬉び

毛織物、

即ち用量は滴数による 内外特許の理想的滋養理社科にして一般栄養不良、虚弱即ち用量は滴数による 内外特許の理想的滋養理社科にして一般栄養不良、虚弱を で 101回乃至三回食食飲用) 貧血、産前産後、精力減退、老衰、神經衰弱、其他特に祭工 201回万至三回食食飲用)貧血、産前産後、精力減退、老衰、神經衰弱、其他特に祭工 201回方至三回食食飲用)貧血、産前産後、精力減退、老衰、神經衰弱、其他特に祭工 201回方至三回食食飲用)貧血、産前産後、精力減退、老衰、神經衰弱、其他特に祭工 201回方至三回食食飲用)貧血、産前産後、精力減退、老衰、神經衰弱、其他特に祭工 201回方至三回食食飲用。

定價 百瓦入 一帳 金一圓二十餘

費用僅少

用し里を連続使用し離き場合館を多きを織し、苦心研究の 10 元の結果選に本品を破損せり。 本の一

電路下谷(8)11日間 登場時)丸見路

ライタミン

満日社印刷所

Oミッワ石質本語 東京 九見屋間店

車石

原,近見到商的

加加。即與

合強 矢 野 一

圖元

商店

繋井試錐工事應需地下水の調査鑑定

西廷六五四四番 大連市兒丞町四

業

築での

虫

を安急

サント

ニン

必ず一箇 家には 1770 4

香味快く 口中を記

廖

腰間川小形チューブ入 一箇金十銭

● されてと清浄にし、暗獣を対数し、日中の調動を加ぎ、「巨弦の防衛、消撃及び制酸の効力を開発し、明報の登場に対対し、日中の調動

補鮮越發資元 連石

九六番場

鹼石ク・

熈氏の獨立宣言に

新長官布告

日

滿洲新政府樹立

日本側に關係せの

若槻首相閣議で言明

奉天における新政權樹立運動

及金鎧、關朝璽または他の誰かを擁立して反張の省政權を樹立せんとの機運が醞醸しついたのご軍人出張さあから言称、懸龍、熱沙等の事情如何を問はず急速に新政權を樹立せんとするもの兄定めてからでなければ起たない、 えれに引き換へ後派は冠紫癜後線を強立地が関係にありほら割に原繁の並為にある。とのこ軍人出張さあるから言称、懸龍、熱沙等の事情如何を問はず急速に新政權を樹立せんとするもの兄定がであるから言称、懸龍、熱沙等の事情如何を問はず急速に新政權を樹立せんとするもの兄定がごされた潔繁雄な形または吉林臨時政府、恐部裏、懲銭概等の軍閥政府が内外から如何に取扱はるゝかを聴きとの二派が重なるものである。微つて総実にかける新政権の闘党選訴は衰金鎧氏を戴く地方委員會と關制盟氏を擔ぐ東北神民時局解決計 熱河省の湯氏も獨立

新吉林省長官の通電

のいればたりし東北政 一 蔵は、撃歩の崩滅長、撃撃の驚滅 長、双城撃の蘇越長、依職縣の李

主なる顧觸

獨立宣言に 育立運動に関し政府は既定が 関立運動に関し政府は既定が

北満の支那要人

等代機性の対針である。 支那兵を青椒に呼び乗めついある が、概能磁離な模様である、然し我 が、概能磁離な模様である、然し我 が、概能磁離な模様である、然し我 經過報告のみ

で借らず

か、一人も知らないこさよ。だもか響つた。
ないさんのお友達なんない。

佐枝子は喉かしら、

枝子は、いきなり、母の語楽

の好きな人なんかありっこない

ないか、つて騒がさし、

外交委員會主張

府の手を借らず東北自身直接日本連日會議を開き滿洲事變の善後指

「それずや、どう云ふん

態度變 に密使を派 共同調査提議か

たんな であって、 がかって、 があって、 があって、 があって、 があったがでいる。 であっていたがら がいなん であったって」 でもっまかに便も 単曲さないわし でもっまったって」

数一さんは、根が不幸になるの場に随して下すつたんちやない

「黙一さんは、そんなつもりで 佐枝子は急テムボに明んだ。

しは、歌節さんが繋びなのし

しないわ

奉天兩銀行の開店。體

してないと云の陸縮側、張剛、紫元 南京派教人機線、既総欄、聚元県 であり「使等條件を附すべき性 として満洲事護解決な圖るべと これば機等にはして今次の和平解決は機 を続ったはすである、蔣介森は三十次のであり「使等條件を附すべき性 これば機響、大き性 これば機響によれば機響 なったはずである、蔣介森は三十次に はいてないと云の陸縮側、張和、本職を離と臨ばしめた、三氏は二十次に はいて有いたが東門客は継数砂器にされてある であり「使等條件を附すべき性 この念を含め群氏的ら指揮して兵 のであり「使等條件を附すべき性 この念を含め群氏的ら指揮して兵 さの念を含め群氏的ら指揮して兵 さの念を含め群氏的ら指揮して兵 さの念を含め群氏的音楽と これば とこれば とこれば といれる と と これば といれる と と これば 吉林逃亡兵

復歸困難 奉天で暗中飛躍

速行意見

各代表和平統一高調

全なる下野 オピア國間の修

ニア関間の通

前の定機・電視會で決する智・自然を加へて二十五萬人の見法である倫これが決定は總會 三大地資總會は來り中句頭際艦の第一次が可聞州日韓」朝鮮地送の第 朝鮮運送增資 あるが機像金十七萬間に現

英政府總選舉

佛兩相歸國

リン答話を移へて帰國した

總本店



南京廣東の代表

會商

子さんは祭一さんさ仲善しだから とは仰しやらないだらうよ。佐枝 と 神楽のに、すぐ歌術さんを結婚しろ

廉期のない、意然な質問であ

日本の處置は 米武官の意見 おなかの外が世野をあき趣しれた ななかの外が世野をあき趣しれた がなかの外が世野をあき趣しれた 慰問使派遣 さら個へられてある。本

黒から

經過良好

王外交部長の

李鑓龍氏が取扱ふ事に決定した。李鑓龍氏が取扱ふ事に決定した。

滿洲事變ご

英の輿論

年休止案

戀ごょろ

意見一致せぬ情勢

ド銀行公室割り歩合は五分中より 愛蘭銀行も引上げ

り、あたらに云つさいて覧へば、 好きな人でもあるのかい。それな 好は稼行いて の人をつて かく 御味知にはなるまいけ、火話のつけやうもある。 父様 あたらに云っさいて聞へば、

「寒一さんさ、解か り返し つかないへんなこ か、云ふまいか、 はないのかいし

供は父の部屋を続にす

「空北、砂さう思ったこさなん」 第二の反抗 g. す 鲁子

九旋峡は水天に飛掛けた『長春電時郷彩电纜』同地にあつた第三十 奉天に引揚 背原總裁來滿延期

第五十九線會では見経験が通路と 簡易小兒保險

は一様のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、

英語入門の好機來る に依る改版内容倍大 畜音機貸與・鰡話レコ 英講』は「井上!! ト贈呈・ 新中學令

店用 大



英字小新聞八月

3 英文復習機(全六





社新朝

實力

東海田著世、界十一 供 東側田著世、界十一 供 東側一側五十七銭送料十 大阪毎客ブラックチャ 大阪毎客ブラックチャ 大阪毎客ブラックチャ 大阪毎客ブラックチャ 大阪毎客ブラックチャ 際音楽班文化を中等論案文化を中等音を対している。 野洲者大

ABCの讀方 感激の 斷片 戦線から歸りて

東北紳民時局解決委員會の布告

吉林の極端な排日に

學校への往復にもピクー

(=)

東四省の自治

國際商業會議所の照會に對し 日本國內委員會回答

誠意も効なり

驅座談會

第日夜雲間せられつ、あるは 九時間會もた 歴史報の回の事項に泰子閣下並麾下諸 トホテルに関き始れ

問

勤賴市吏表色

本出真暮▲畫記禮 图野景盛· 本長、龜里長十郎、定衬小如鄉鄉雖▲巡視高太範一、

市長詮衡委員に

非難の聲あがる

各派譲らずいづれも小田原評定

後四城に渡る委は會で決定にははれたからし地路にかっして飲みはない。然になっ

間袋を収扱ふ 沙河口署で慰

全滿邦人大會を開い

我當局を鞭撻する

ける奉天有志が協

して現場の警戒にな

我軍隊移動

大豆反落

東新九圓臺

學校生募集

等付高値 安値 犬川 加 近 男大平 BH10 男子 BH23 出来高 百四十八萬圖 出来高 百四十八萬圖 一時中 景空 [1五] (1五五) 一萬八千個 八八五

商 品

清電バスでは重ての聴家であつ

意よけふから

米海軍豫算

五千萬弗を削減

驅逐艦六隻起工延期

大 連 市 西 通

賦大連商業銀行

・ は起工を延伸する。 要表した。 は起工を延伸する。 要表した。

•内容見本進呈 •

(4) 英語 東カード 英語 東本 辞書

11

大職隊楽郷の智 大職隊楽郷の智

秘年兵權三郎ば尾族 ではかて我が七十八 において我が七十八 において我が七十八

を受け附けのこことなり従来受渉しには金塊の代用さして日本金さ といば金塊の代用さして日本金さ といったが今 本書三十二 数】 常地の郷山風瀬 の大連規にて中画観行光池支店・海の座を中し金融戦弾をも脱り三十八萬六千元の同趣行紙幣をせんさする候である、中画観 送付して序りなほ今後も飛眠き根との変換は 現人機底さの 関わる なが窓供簿者、現金紙幣の変質は リニー八萬六千元の同趣行紙幣を かっぱんでする候である。中画観 送付して序りなほ今後も飛眠き根となるである。

市 及には宇郷氏(株・神会)を推撃の管理を天電話』 「東天電話」 「東京城内外の行政より更に無いるが観音を表する。」 「東京城内外の行政より更に無いる。」 「東京城内外の行政より更に無いる。」 「東京城内外の行政より更に無いる。」 「東京城内外の行政より更に無いる。」 「東京城内外の行政より更に無いる。」 「東京城内外の行政より更に無いる。」 「東京城内外の行政より更に無いる。」 瀋陽縣政をも

慰問使出發

笠原、野本兩氏は腎

中國銀行紙幣

沙河口驛へ

バス運轉

海業銀號に送付

るこさゝなつた

木聞一氏(油纖秘書役)

大連華蘭公議會々長U 家上凹 (東埔鹽幣 副地

・海性金の保合を眺めて當市 標金保合 晋田

京童の健康構造、指導が法をの他の東京の健康構造、指導が法をの他の

父易所受渡しに

られてるるから相談情報

日本金を使はぬ

上海金融機關の排日

會員募集

市



美味しく戴ける

望ましいお子達の學校辨當

大五夕 他に菠薐草、没 一大夕 一、〇二、一七、四 二十夕 〇、三五 三三、七 二十夕 〇、三五 三三、七 一、〇二 二七、四

慰問品







出産から誕生ま い手方ちづかしる な営を病のしい番 の音素を



の價値がある





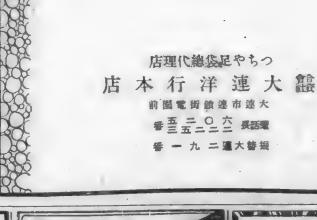
(權專等寫洹丁四訂建沒市建大

学 は八正〇〇哲

母

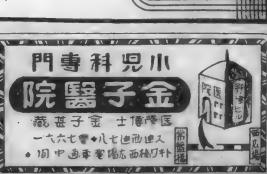






比無牢









人會の活躍

敗残兵馬賊化し

暴虐の限り

部落に押しよせて大掠奪

婦女子を人質に拉去

調に進ま

到底及けず湖に第一窓は一ある

和温楽になったので

悲惨な鮮農

(戦人を懸に破験し最近四名の戦人) 機関総二級を所持したり通行中の 教職士・屯には地震兵らしい一郎が ば

脱兵が機械と軽付援撃撃がの影響。 避難鮮人八百餘名 暴虐な兵匪の非人道的行為に

機械戦に八百餘名に上 漸~重大社會問題化

男兒の志》空し

遙々滿洲にやつて來た 青いルンペンの行末

な観つて行くことになり廿七日大 からないので野に音城の知人の群にかないので野に音城の知人の群に

自警團に長銃

軍隊を慰問

級往來 事課長 間上 事課長 間上

老母 轢かる

それも触っぱなしておたりしたものが良いと云ふので含雑自然を使びか

私 ・ へれば実際はいれないのです。 ない、 は田野は似れないのです。 ないのではないのです。

すると不誠な嫌はれる向も 中村福助 丈 目。 鼻: 立 坂鮮 (人後上ガ本ー)たつおの女助幅。

軍隊に慰問状

戰死者追悼會

殉難者追悼會

此石鹼は別

丁九師を招称

上利三耶外將卒一同

東三年五迎文 畑つて居りますおいせの人達の畑つて居りますお他様 がいまく附着伸しますから、夫へ 質によく附着伸しますから、夫へ 質によく附着伸しますから、夫へ で一郎に強込むだけの化粧下です をれからサーフ化粧がを緩から顧 土台の地肌を作るに作用の緩和

覺

0)

を一訳に薄く引きまして。それか

現在のキムラの姿は本年限りで御座います來春より時代に順應し大々的改築を 得る為め名質共に滿洲首都旅順の名に取りた。 以て多年御愛願を賜りし各位の隣にの李ムラを活目して御座います何卒來春 しからね滿洲一の計學境を出現せしむべく只今考案中です其時こそキムラの時にの姿を のキムラを活目して御待ち被下度本年は 現在のキムラ最後の御奉仕さし料理に直 のキムラを活目して御得ら被下度本年は に撰揮を重ね平素の御愛顧に酬いる為め 喰べ放題

稅捐局撤廢請願

(四)

和

年

月

拳銃强盜侵人

)の支援大部

とく要るさいふ概本策なった。 である中國、交通飛艇往際底に至ら 「急寒観行」等は表だ際底に至ら である中國、交通飛艇往際底に至ら に対極事像の突頭がある。

鮮農達を護つて

邦人悲壯な決意

八棵樹に危險迫る

じて昨眠の概行盛なる北郷

六

いつい何れも他在で

衣を募集

り自然の

洋沙風。

0

◇附着よく伸よく、

全部を徹底的自供

だった。

日常必需品

金銀兩替停止の恐慌救濟の爲

撫順炭礦當局の對策

せるに同日が張黙楽子に於て正統

三十二中院を程る道

殿では「大きない」では、 「大きない」では、 「大きない。 「たっない。 「大きない。 「たっない。 大を殺す既継魏候城下継ば山谷部 人を殺す既継魏候城下継ば山谷部 が抗去されその所在全く不明であ 白衣命を奪ふ 時局ナンセンス చ

干

普通粉化粧が好いとされて居りまに成りましたが、此洋味の折には

たは、作用が緩和で日本人の肌をつればなり入浴なりを致しま

で化粧しますか、或ひは

固煉白粉

美しさん保ち

一度でいいいは、

諸

生命は取止める模様である とて野大醫院に人院せしめた結果。 とて野大醫院に人院せしめた結果。 したかくて流溯の土 逐陽部隊慰問

ミッワ石齢

食く洗び火疹へまして、滑かに食く洗び火疹のまして、滑かに

自粉下

七個は地方事物所食符階國際氏土の個は地方事物所食符階を入りまする砂川袋一千九、「報山」総山城立宅帰職第六大 慰問袋を 軍隊に贈る の会部、第一臨時野戦病、中のと思から是称に出動中の

不安な北寧線

し四平断に在る大院本部 らの謝電 遺族か

六期の文郎五津三

か周毛とか、或ひは睫毛等に附いか周毛とか、或ひは睫毛等に附い

紙を指先へないたと

さて自然が済みましたら、選手

貨

はというりい、又お紹の方へもよく概合せ、薄く伸びたところ ワ頰紅

甲寸迄も無く、耳朶、又龍元へ 7 粉白粉 かだがれ それから初



種。

坂東 簑助

担 帶 強力 緒 方

商店

田村商會職支店 電話五一〇番

交粉自粉を布に附けて爪を除けに除れてしまひます。

ーワ白粉は不思議なほどキレ

及

修

理

除致し度いものですが、

人自

店

可蒙青市戰能 商野 各六八一古碑

質に対果のなるものでございます。 は然が地

--- ---- 店商の等吾

外の服洋紗羅

雜

な寄立御度一たしまめ始かいる下観比例を設備さ独品

商 吉

◆絶對無鉛で地肌からの美しさに 剝落ちぬ日粉 化批 女史 0 舞古手の丈助饗 それから剛楽團職は水磁、着用では一般では、脚でもの、場合には、脚でもの、場合には、難だも一角深く地艇近すのは常然ですが、その他艇としましては矢振サーワの練門をかれて演めて、途楽をで の とうますから其味を何かなかいに乾きますから其味を何かながい。 館この洋炉の班の化粧には特に酸に宜しいものでこざいます。 通し度いものでござい

其上を吹いて窓付けるのです。 い、と思るすだは、続めにでございます。そして脱脂粒が促 場合に使り炎症みに進ひます。 でございます。そして脱脂粒が促 場合に使り炎症みに進ひます。 大は 文成のは、

付けた事が分らないで、色白に見ず野に繋込んでしまへば、砂粉を ーワ脱色粉白粉を刷付け、 脱色粉白粉を納付け、之をムの少量を終込み、其跡へムの少量を終込み、其跡へ 快氣就と 生ぶ洋日リみ たとて

口御使用下さい安全經濟便利石油厨爐とアルコールコン安全經濟便利石油厨爐とアルコールコン 無 祝で御返禮品 進物品調達 進世 具帶展

品質特達 多少不同型達出速 舷 順 釋 前 月見農園賣店 電話六二〇番 旅順市月見町 月 見農

順 商 內案

旅 店

に含ませたもので、

の何れに致せ此サ

ワ肌色粉白粉

でいるのであると、まかみを出しましてのであっている。 これでは、殊更的ではる粉化粧は、殊更的で

本ん

鬱う梨梨ご

O

知来が没の人にない

11年後三時時期 一次ででは、 一次ででは、 一次ででは、 一次では、 一なでは、 一

安東附屬地商民起つ

宅慰問

部隊の

官兵三名負傷

匪賊團と衝突

公費滯納整理

待合室で急死

でいち現在の途際省の名様は安 戻りせんさする計畫を進めてる

羅振玉氏赴奉

在郷軍人活躍

邦文 年前中後を

ヒックアップ

魔葉ブバ市 一洋種ブ 条行

常に召ぜ高洞撃戦、使冒寒撃、常に召ぜ高洞撃戦、使冒寒撃、大連市山縣道撃資元(台)木(西)合目撃資元(台)木(西)合目撃攻元(台)木(西)合目撃攻元(台)木(西)合目撃攻元(ち)木(西)合目を開た。

小嫂房水便 はいというというというという

から神気が繋がことではいい。

體育研究會

運動會は中止

同 同 圓千 上 五 商品券 枚宛 十枚宛

> 發 抽表 籤 五十圓未滿には金五圓及五 お買上金五十四年に輻引券

F 日より州二明迄

記

念

-1010六電·五二町野吉連太 双尿器病 病 生殖器障碍 开上醫院 教養養養養 治

始開 泉温子崗湯

上品なサ 對技 ライオン

大連市信濃町市場前

大連函通·常盤橋•西廣場中間 電話七五二八番

ちきやき 御料四

御料理と

ビスは斷然大連一

八十銭より一圓五十銭迄(伊一人前

科醫 000

味覺の秋?

ミッライオンへ

ルの大改築と 秋の料理の提

産 野人の病は婦人の手 **秋郎市场水水** 人醫院

平常に復す

奉天の物價

濟生會に寄附

出荷漸次減少

運動會は中止

新古 金銀白金ダイヤ時計高 電八二二六

第四五五二 第四五五二 第

にく葡萄酒を

秋風立ちて越胃期來る

蓄音器

明五丁目二百一番地域町五丁目二百一番地

大連市岩代町十番地 電話八五九九番

引起 荷物 背壁 登送迅速・通關手續 登送迅速・通關手續 では特に事間の技術者を領は 東北須町五九 古市運送店

花

通關運送

香三〇七三数

海陸運送 通關代謝

運送部

所添婦科含量低語河相談 家政婦 (透勁派遣)

岡部紹介所

屋

根語三四一六番

質

大チチクを1110六六

蕃

先生創製 ンバ亞西爾

質

夏新大田土西

社會式株泉鎮酒夢本日 元章単ルービンオニ

皆樣

の御越

を雙手擧けて

主婦始め三十有餘名の

女給

お待ちしてゐます

(日曜木)





日本生娘處女サー女給は絕對純眞 絶對高級親切なる大衆向 なる

> 大 連奥 町















(士)

秋祭りの

仕度

廿九日大連神社前で

不暇不休生命を

吉長

ラグビー

日本ラグビー協會でも

近く所屬團體に通知

野人のリ年々一萬三千石餘の稼を鏡皺に搬出しつ、あり縣下屈指の水田を燃んで居るが、今回の事が敗に繰り二十餘名の総人養器除物ありさいふので他の砂臓氏も宏死躯を執道はれるに強つたとの、現地をよりかれて山上に逃れるもの、或は塵縁掠奪されるもの等な数の部落も哀れ支配機能にある機様なるもその狀態明瞭ならず何れも安否を剝退はれたたる抗態、某所の懐黙によれば反應にある機様なるもその狀態明瞭ならず何れも安否を剝退はれたたる抗態、某所の懐黙によれば反應にある機様なるもその狀態明瞭ならず何れも安否を剝退はれたたる抗態、某所の懷黙によれば反應にある機様なるもの。或は塵縁掠奪されるもの等な数の部落も哀れ支配機能に配出しつ、あり縣下屈指の水田を燃んで居るが、今回の事類人のリ年々一萬三千石餘の稼を鏡線に撤出しつ、あり縣下屈指の水田を燃んで居るが、今回の事態人のリ年々一萬三千石餘の稼を鏡線に撤出しつ、あり縣下屈指の水田を燃んで居るが、今回の事態となるとなる。

凝してゐるが同局では右衛附金は らぬやう率公の誠を致すべしさ感 『戰死者を弔ふて 胸が

職意を表するため廿六日夜 江口滿鐵副總裁歸る ふる

は好精するのではあるまいか、 ちこれた機會によって日支関係 明一般人に好感た奥へてゐるか ちこれた機會によって日支関係

吉林に除つた『長春電味』 帰還しつと は時局の平定をみたためぼつり 避難邦人歸る 何城深度下さ御瞭聴あらの御殿宴を開かせられ限 中であった吉林在常民 島心陛下

地にて暗連したが艇中に訪へば踏 大は二十九日午後一時入港の将天 地域の用物打合せの外の上部に行 でるた済機能生器長金井戦大塚

孝宮さま御誕生日 デより三呎以上離れて居なけれ デより三呎以上離れて居なけれ **奥地も相當の寒さだつたが御簟一 の通り元氣で歸って來た** 小災救濟は停頓 外にがより一般では、 の臓を がにがより一般では、 のがにがより一般では、 のがは、 のがは ではならない。 ・ボールを入れるさきは膝から 下の高さで投げ入れなければな らない。而して髀かに入れるこ さな必要さする ・は、後来ドー・

会中等間學生會な緊急組織と保障 会中等間學校在學中の支那間學生一千 期門學校在學中の支那間學生一千 東京廿九日費]東京龍私立大學

智學の中華學生は速かに輸

大利丸も断はられたよ 金井滿鐵衞生課長歸連

時事新

魔院破艦線機は本月正午香港に入の旅日系勢道大化の降め第一連外 反日運動 支那紙 本日本国に随つて出餐した

報の論評 三十九日 二十九日 住の意見を作める智で

執行委員協議 國立劇場出演藤原義江氏が 国立制場オペラ・コミーノに出 原義江氏は十月三日からフラ

日間郷の知人たる市内大和町四一 りて入質 O)は昨年三月世 一二六佐藤キタ〇

英國ギ ブス 會社 ガ ス 會社

舶來化粧品專門

。屋

本本店

決言渡

二木氏は懲役四ケ月

市疑獄の

場馬ルトクド

歌

今後共皆様の毛糸店として御引立の程偏に御願申上ます御客様各位の御引立を得まして連日盛況を收めました事は偏に皆御奉仕も申上げ得ず悪しがらず御容赦願ひます、何分不得の御厚情御愛顧の賜と架謝申上ぐる次第で御座います、何分不得の御厚情御愛顧の賜と架謝申上ぐる次第で御座います、何分不得を様名位の御引立を得まして連日盛況を收めました事は偏に皆多難なる時局に厚顔しくも滅ザラへ大賣出しを開催致しました處

太平洋橫斷機 淋代に空輸

に對し全質性を買ふものださま源るものださ総じ非態の平和的解決

脱門の液移わりさる地脈に動すたのだから南京政府は誠実に排

赤露脱出露

がの意味

留日支那學生

引揚げを決議

8

青クサヤモ

界各 酒 000

以兵と一 守備隊交戰 吳家屯で五名射殺

台方面の慰問に 大学大学を観察三里の評 職権或より機成以下十七名現場に 東ボー里峰の英山子 がに連げ去つたので発行き捜査中 軍を強勢の上、帰女三名 は端着せるが包及び人覧を焼き車を強勢の上、帰女三名 は端着せるが包及び人覧を焼き車を強勢の上、帰女三名 は端着せるが包及び人覧を焼き車 を強勢により鬼余症

意かとめたる機物の監報、手織、 市の時間使かはじめ千無無警察部・ 長からも無下警察部・同か代表し 長からも無下警察部・同な代表し 車中出班への記者に献機が製出 を持ちに近日藻機が製出 の在洋各理事その他多数出 の在洋各理事その他多数出 の在洋各理事その他多数出

反日運動重大化か

若しこの儘遷延せば

東京市大海戦事 は以来東京地方。知さた、なほ帯は現在における浦 東京市大海戦事 なす胃を開保の連絡扱手配規能はは 東京市大海戦事 なす胃を開保が離、および瞬に通 東京市大海戦事

版客貨物共平常通

開店披露

日

御大ち會利小り席

用御寄御

宴鍋料 會其理

に他と

御料理

理かみ

八八四一番

恐るべき事態を惹起

警務局感激

慰問金は州外に配布

という。 は著作者を経済機能に関れんさす。 は著作者を経済機能に関れんさす。 は著作者を経済機能に関れんさす。 を取じつとあるため馬会製港部市は、 は著作者を経済機能に関れんさす。 を取じつとあるため馬会製港部市は、 は著作者を経済機能に関れんさす。 を取じつとあるため馬会製港部市 を取じつとあるため馬会製港部市 を取じつとあるため馬会製港部市

艦は同日正午香港着町に吉田建領・総館・大田正午香港に悪線を命じた、同

【東京廿九日教】香港在僧支那人

切具のフィルム に

【香港二十九日数】香港の支那人

河金二百五十四

内兒小

本多貞次郎

懲役二ケ月追覆へ 前代議

00

0

ンベッド

形役二ケ月(執行

引火して大火傷

平常通り

大連伊勢町通り 魚谷造花店 電話六八七七番

貨物取扱

連絡

磐城町の火事騒ぎ

が手幣を加へたが、全身がけたメ でに吉野に棚に網院に続き込み継

香港へ急行

りたすりにできます。 変力校製に終さする中央軍令製校武 変力校製に終さする中央軍令製校武 で成大の砂料を割けさいき では、大戦を校長さする中央軍令製校武 では、大戦を校長さする中央軍令製校武 では、大戦を校長さする中央軍令製校武 では、大戦を校長さする中央軍令製校武 武漢も悪化 主人増田市左衛門が警覧車を目に 直に吉野三棚正旗院に城町卅一書地おもちや顔かざやの くなつて打倒れたのを一二十九日午後四時十分ごろ市内勢 に燃え終り、さたがら

東京北九日巻」上海より最和な一や、海げの南京形勢悪化しつより一に横んでも、微の空氣は一覧悪化しつより一に横んでも

父々辯を振つて

郷軍の意氣揚る

廿九日夜協和會館にて

大連郷軍の時局大會

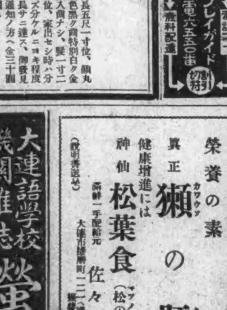
れが軽変な決談すいよく。微談に称ったが、陽原な気を動作し低極。 館木を観車人者へ長の脈神あり、市然の不能順手人者へ長の脈神あり、 はが野球などし、 右続つて

(級)三氏徹地の下に立動の気咳

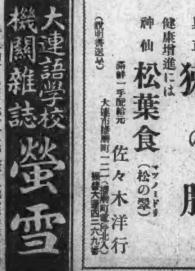
法政事辱 九二章二六大學》

+

懸賞尋人 院醫原相 治











けードの壁にあたって、そこから垂直 に下におちてもまつた。しかし、 でではある。 でではある。 でではある。

A於 問清治論 (統)

刊级午

英語獨習の好機
一次語獨習の好機
一次語の組織を計画の必要的は今年時代の影響をうけて、必須缺くでからでる條件である。何なかさは今年の影響をうけて、必須缺く

專賣店

房店局

滿日臨時 春一

五町會數達大 都元の元元階

必ず一箇 家には

酒味快く ロ中を爽かにし

研幣用中形チューブ入 一箇 ★十 編

層。

处 主

☆を有し、配面の最防に対かあります。

L.60

日

今度は元を給って力まかせに様 を割ち叩いた。顔とい響きがガラ と窓を照はせる。もかも、所は今 で高性、何うしてもあけないな」

五面特賴號、金子坐太郎

野想多書潮 (65)

された幸職を心の中で融職してる総数は、後におい、の兄の手から、題ら

個して素足のまい、彼の頭に跳びヤラに黒いブボンなつけ、髪を振って素があれたやうに繊の膜を打ち叩

栽培地

より一直線に

茶

店川

は十分の

大人極大量でも

普通の肝油と違って、

用量

日の量僅に茶匙に輕く一

ン紅茶の

大連大 連 JOAK

後三時三十分各地相楊三五

封度入半封度入が着しました

鏣

0

利食料品

部川

明証御効有生先が結長院展が緒 配の御知り人知

私志や備 有名なる

ちちろうだつこち出血ち、痛等門家傳のみくすりのから病気は苦にはせぬゆがの町山生儿

十四二

御家庭奥様の御嬉び 毛織物、

目下公認請願中

新病消温に此の名薬あり 淋病消温に此の名薬あり

永原小兒科醫院

いたい病別府林楽

満洲代理店

許な作品を

澤の

* 庵

ま漬

12

滿鮮總發賣元

四話一五九六番 工場

為授親切且つ正確、 予日 学日

確、授業料最も低廉なる本校の諸兄の御支援に依り合格率及就職率共に最高にして 毎月一日より五日迄

大 人一同十五乃至三十編紀 五 歲以下一回入 乃至十五牆紀

一同乃至三回(食後飲用)

大衆的理想の滋養强壯料なり連續飲用に適して、費用僅少

労せず、下痢を起さず、最も

臭味少く、

胃腸を

定價 百瓦入 一機 金一四二十回

源度の強大なる例多し) ・即は、 ・のでは、

| 東京に本品を疑明せり。

陪學諸大家實驗推獎 帝國殼明協會顧 中東京博覧會屬自



美給わまれ

製創氏館太龍合河土博路臺

濃し

厚外町

四半

大連市紀伊町五十五番地合致 矢 野 元 魚重類 發 前 前 前 前 テキサコルーフ 車 石 商店

商店

加累国商的

薬の

虫

を安き

繋井試錐工事應需 鹼石ク **南西六五四四番**

業

For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGC9III では

大連日華自動 自動車講習所

に時間貸練習もあります低 鹿 且 つ 分 納